【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【公開番号】特開2025-23039(P2025-23039A)
【公開日】令和7年2月14日(2025.2.14)
【年通号数】公開公報(特許)2025-028
【出願番号】特願2024-206510(P2024-206510)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/427(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　2/68(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/427
Ｂ６０Ｎ　2/68

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月11日(2025.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シートクッション及びシートバックを備えた乗物用シートであって、
前記シートクッションは、シートクッションフレームと、シートクッションパッドと、前記シートクッションパッドの下方に設けられた衝撃吸収部材と、を有し、
前記シートクッションフレームは、
一対のサイドフレームと、
前記乗物用シートの幅方向において一対の前記サイドフレームを連結する第１連結部材と、
前記第１連結部材よりも後方に配置され、前記乗物用シートの幅方向において一対の前記サイドフレームを連結する第２連結部材と、
前記乗物用シートの前後方向に延在し、前記第１連結部材及び前記第２連結部材を架橋する架橋部材と、を備え、
前記衝撃吸収部材は、前記架橋部材の上に配置され、
前記架橋部材は、前記衝撃吸収部材の前方位置を規制する前方位置規制部を有し、
前記乗物用シートの幅方向において前記前方位置規制部の長さは、前記衝撃吸収部材の長さよりも短いことを特徴とする乗物用シート。
【請求項２】
前記乗物用シートの前後方向において前記前方位置規制部の長さは、前記架橋部材の長さよりも短いことを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。
【請求項３】
前記前方位置規制部は、前記衝撃吸収部材の前面と当接することを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。
【請求項４】
前記架橋部材は、前記乗物用シートの前後方向に延在し、前記乗物用シートの幅方向に間隔をあけて並ぶ２つの隆起部を備え、
前記前方位置規制部は、前記乗物用シートの幅方向において前記２つの隆起部に挟まれるように配置されることを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。

【請求項５】
前記架橋部材には、前記乗物用シートの上下方向に開口し、前記乗物用シートの前後方向に間隔をあけて並ぶ２つの開口部が形成されており、
前記前方位置規制部は、前記乗物用シートの前後方向において前記２つの開口部に挟まれるように配置されることを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。
【請求項６】
前記前方位置規制部は、前記架橋部材から上方に向けて突出する規制突部として形成されることを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。
【請求項７】
前記架橋部材は、後方から前方に向かうにつれて上方に傾斜した傾斜部を備え、
前記前方位置規制部は、前記傾斜部に配置されることを特徴とする請求項１に記載の乗物用シート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
前記課題は、本発明の乗物用シートによれば、シートクッション及びシートバックを備えた乗物用シートであって、前記シートクッションは、シートクッションフレームと、シートクッションパッドと、前記シートクッションパッドの下方に設けられた衝撃吸収部材と、を有し、前記シートクッションフレームは、一対のサイドフレームと、前記乗物用シートの幅方向において一対の前記サイドフレームを連結する第１連結部材と、前記第１連結部材よりも後方に配置され、前記乗物用シートの幅方向において一対の前記サイドフレームを連結する第２連結部材と、前記乗物用シートの前後方向に延在し、前記第１連結部材及び前記第２連結部材を架橋する架橋部材と、を備え、前記衝撃吸収部材は、前記架橋部材の上に配置され、前記架橋部材は、前記衝撃吸収部材の前方位置を規制する前方位置規制部を有し、前記乗物用シートの幅方向において前記前方位置規制部の長さは、前記衝撃吸収部材の長さよりも短いことにより解決される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、上記の構成において、前記乗物用シートの前後方向において前記前方位置規制部の長さは、前記架橋部材の長さよりも短いとよい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、上記の構成において、前記前方位置規制部は、前記衝撃吸収部材の前面と当接するとよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１０】
　また、上記の構成において、前記架橋部材は、前記乗物用シートの前後方向に延在し、前記乗物用シートの幅方向に間隔をあけて並ぶ２つの隆起部を備え、前記前方位置規制部は、前記乗物用シートの幅方向において前記２つの隆起部に挟まれるように配置されるとよい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
　また、上記の構成において、前記架橋部材には、前記乗物用シートの上下方向に開口し、前記乗物用シートの前後方向に間隔をあけて並ぶ２つの開口部が形成されており、前記前方位置規制部は、前記乗物用シートの前後方向において前記２つの開口部に挟まれるように配置されるとよい。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　また、上記の構成において、前記前方位置規制部は、前記架橋部材から上方に向けて突出する規制突部として形成されるとよい。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
　また、上記の構成において、前記架橋部材は、後方から前方に向かうにつれて上方に傾斜した傾斜部を備え、前記前方位置規制部は、前記傾斜部に配置されるとよい。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１７】
本発明の乗物用シートによれば、架橋部材によって衝撃吸収部材を適切に支持することが可能となる。